

市内の各中学校の代表として、生徒10人を8月5日から2日間広島市へ派遣しました。参加した生徒は、それぞれの学校の生徒が平和への祈りを込めて折った千羽鶴を原爆の子の像に捧げ、平和記念資料館で学習し、平和記念式典などに参加しました。68年前の人類史上最初の原子爆弾による被害を肌で感じ、非核平和への思いを新たにしました。その内容を生徒のレポートを通じてお伝えします。

被爆体験講話



◆ 崇広中学校 福森 優樹

被爆体験講話を竹岡さんという人から聞かせていただきました。原爆は罪の無い人たちの命を奪っただけでなく夢や希望までもくずしてしまいました。一瞬にしてすべてを奪った原爆のおそろしさを知り、二度と原爆を使ってはいけないと思いました。

◆ 霊峰中学校 増森 さやか

竹岡さんからお話を聴かせていただきました。多くの人が放射能を浴びたそうです。竹岡さんの最初の子どもは、放射能の影響で生後18カ月目で亡くなったそうです。でも、その子どもが私の命を救ってくれたと言っていました。

原爆の子の像

◆ 緑ヶ丘中学校 中西 陸人

原爆の子の像の下で鐘を鳴らして千羽鶴を捧げに行きました。そこにあった千羽鶴

原爆ドーム

◆ 島ヶ原中学校 川上 梓

原爆ドームを見るのは2回目ですが、やはり見ると原爆の恐ろしさをものすごく感じます。周りの風景は近代的なのに原爆ドームだけは、原爆の悲惨さを伝えるように当時のままで止まっているような気がしました。

には、とてもたくさんさんの都道府県の中学校や小学校などの名前が書かれていて、改めて多くの人が平和な世界を望んでいることがわかりました。

第9回伊賀市非核平和推進



中学生広島派遣団レポート

平和記念資料館



◆城東中学校 嶋岡 悠生

ぼくは広島平和記念資料館で、原爆によって皮ふが焼けただれた人の写真や、原爆によって亡くなった方々の遺品を見ました。ぼくにはその全てが、原爆が落ちたその当時に今に伝えているように感じました。

◆阿山中学校 西田 千尋

資料館には、原爆で皮ふが溶け、垂れ下がった人の姿の模型、ひどくやけどした人の写真など、目をそむけたくなる写真がありました。

改めて原爆の恐ろしさを知らされました。二度とこんなことを起こしてはけないと強く思いました。

平和記念式典

◆上野南中学校 中岡 誉明

式典では、いろいろな国の人たちが来て、これからの平和を祈るとともに戦争をなくしていくという意志がとも伝わってきました。これから自分たちは戦争・核兵器をなくしていくために何をすればよいかしつかり考えていこうと思います。



◆大山田中学校 森井 美早樹

平和記念式典に参加して、世界中の人々が平和を望んでいるのだとわかりました。また、近ごろ話題になってる憲法第9条について、私は変えてはならないものだと思いましたが、核で国を守るという意見もあります。私は反対の意見を貫きたいです。

広島市立舟入高等学校 演劇

◆柘植中学校 中嶋 由佳

劇はアメリカから見た原爆の話でした。戦争から帰ってきた兄が、「自分は傷つかずには相手を傷つけることはできない。」と言っていました。

自分も相手も傷つく戦争はしない方がいいと思います。

◆青山中学校 西出 彩那

劇は、アメリカ人の主人公の兄が原爆投下直後の広島に行き残酷な風景を見て、自分たちのしたことを後悔した話でした。原爆は、人の体はもちろん人の心までも傷つけるんだと私は思いました。そして、原爆や戦争はもう二度とくり返してはいけないと思いました。

【問い合わせ】

人権政策・男女共同参画課
☎ 47・12886 FAX 47・12888

